

平成 28 年度 第 3 回魚沼地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

と き：平成 28 年 8 月 30 日（火）午後 2 時から 3 時 20 分まで

と ころ：南魚沼市図書館 多目的室

1. 参加者

魚沼地域共生ビジョン懇談会委員（以下、各市町五十音順）

○魚沼市

枝村和枝委員、小林栄一委員、星麻衣副会長（欠席）、森山右文委員

○湯沢町

井熊充委員、貝瀬健太副会長、高野理香委員、高橋和成委員（欠席）

○南魚沼市

井上智明委員、川島亜紀子委員、関聡会長、樋口昌敏委員

各市町職員

●魚沼市

事務局：浅井企画政策室主任

●湯沢町

事務局：田村企画政策課企画係長

●南魚沼市

今井総務部長

事務局：片桐企画政策課長、宮崎企画主幹、中島行革主幹、半沢主事

傍聴人 なし

2. 議事

【1】開会（進行：片桐企画政策課長）

【2】挨拶（関会長）

本日はご多忙の中、第 3 回共生ビジョン懇談会にご参集いただきありがとうございます。

第 1 回、第 2 回を経て、本日最終案が事務局から示される。本日、懇談会としてまとめた共生ビジョンを各市町の 9 月議会でも説明をするため、よろしくお願ひしたい。

【3】議事（進行：関会長）

（1）定住自立圏共生ビジョン案について〈事前資料〉（説明：半沢主事）

会長）資料 2 をみると、全体的な意見は反映していただいた。連携事業に対する意見は今後ワーキンググループで揉んで、共生ビジョンに反映できるか決まると思うが、どのようなスケジュールで共生ビジョンに反映するのか？ワーキンググループ全体会議は、毎年 6 月と聞いているが、それを待たないと反映できないのか？

事務局）議事 2（次年度以降のスケジュール）で説明させていただくが、全体会議以外でもワーキンググループでは委員の意見を踏まえて現在進行形で進めている。

委員) 資料2をみると、第1回共生ビジョン懇談会からの意見等の反映状況がないが、第1回の意見等もワーキンググループには投げかけてもらっているのか？

事務局) 6月21日開催の第2回ワーキンググループ会議の中で投げかけており、反映できるかワーキンググループで検討中。

会長) 懇談会から出た意見がすぐに反映されるわけではなく、一度ワーキンググループで揉んだ上で、ビジョンに反映できるか決まる。路線バス支援事業について、どのような内容を実施するのか？

事務局) 補助対象となっている地域間バス系統のフィーダー系統(※バス停留所や鉄道駅などと、地域間バス路線や鉄道などの地域間交通ネットワークを接続する系統)を維持し、市民バスとの円滑な接続による利便性の向上などを想定している。

会長) 六日町活性化会議の中で、若者の起業支援を進めるということで駐車場の整備なども進めている。中心市街地活性化として、二次交通の整備を進める必要があるのではないか。例えば、夜10時、11時頃の夜行バスが運行していれば、安心して遅くまで商店街で飲み歩けるため、商店街の活性化にもつながるはず。

副会長) 路線バス支援事業について、二次交通の整備と絡めて観光情報窓口事業と連携して進めてほしい。首都圏の若者は運転できない人が多いと聞くため、観光情報を案内した後、駅から離れている観光施設に行くための二次交通を充実させることが重要。

委員) 地域医療連携推進事業について、第1回懇談会でも意見させてもらったが、看護師不足という現状がある。地域完結型医療体制の整備については、看護師などの安定確保が必要不可欠であるため、事業概要にはその旨追記してほしい。また、この事業で設置する地域医療連携推進協議会の下部組織として分科会ができた場合は、これまで意見させてもらったような取り組みを具体的に検討してほしい。

会長) 事務局で反映していただきたい。

委員) 福祉関係のワーキンググループについては、具体的な連携事業を探している状況だが、地域医療連携推進事業は、医療・介護・福祉のネットワークを強化して進める必要がある。ワーキンググループでも連携して具体的な検討を進めてほしい。

事務局) 次年度のワーキンググループ会議は、28あるワーキンググループを集約して進めたいと考えている。委員のご意見のとおり、福祉関係のワーキンググループと医療のワーキンググループ間の連携が進むように運営したいと考えている。

会長) ワーキンググループ会議は、自治体職員のみで検討するのか？有識者を入れた方がいいと思うがどうか？

事務局) 2市1町事業課担当職員で検討している。有識者については、個々の協議内容によると思うのでワーキンググループに話をしたい。

委員) 策定初年度の掲載事業として15事業あるが、これからがスタートであり、予算が伴って初めて具体的に進むと思う。人口推移のデータとして掲載してもらったが、今の時代は外国人との共存はもはや避けられない。また、一般的に、子どもを一人育てるのに約2,000万円、100人であれば約20億円かかると言われている。最終目標の人口減少問題に対応するためにも、定住自立圏で取り組んだ事業がどのような効果があったのか、事業効果を施策に反映させられるように、ワーキンググループでも取り組んでほしい。

会長) 人口減少問題と切り離せないU・Iターンや就職促進事業などは、現在ワーキンググループで検討している最中。六日町商工会では国際大学と連携して取り組んでいるが、学生と名刺交換をすると、彼らの肩書を見ていつも驚く。南魚沼版CCRC構想でも国際大学との連携を進めているが、是非定住自立圏でも連携を進めてほしい。その他、特段ご意見ご質問などなければ、本共生ビジョン案を共生ビジョン懇談会の総意としたいと思うがよろしいか？

一同) 異議なし。

(2) 次年度以降の進め方について<事前資料> (説明：半沢主事)

会長) 例えば、バイオマスや医療などについて識見を有する委員がいると思うが、ワーキンググループに共生ビジョン懇談会委員を有識者として入れることは難しいか？意見を言うというよりもワーキンググループで検討している意見を聞く、傍聴という立ち位置では難しいか？

事務局) 今後の検討事項とさせていただきます。

委員) スケジュールをみると、共生ビジョン懇談会の開催は来年10月になっている。来年10月まで我々が意見をいう機会はないのか？

事務局) 委員からの意見は随時受け付けたいと思う。

会長) 委員の任期は2年となっている。委員の皆さまは、日頃から周りの人と意見交換や情報収集をしていただき、事務局へ投げかけてほしい。

【4】その他 (説明：片桐企画政策課長)

会長) 各市町の議会説明はいつ頃になるのか？共生ビジョン懇談会委員が傍聴することはできるか？

事務局) 南魚沼市では9月14日を予定しているが、全員協議会の中で説明するため、傍聴できない。一般質問で取り上げられた場合は、委員も傍聴できる。

各市町3月議会後に次年度の予算が確定するため、10月公表予定の共生ビジョンは、平成29年度予算は未定となる。予算確定後に、予算額を掲載した共生ビジョンを送付する。

一同) 了。

【5】閉会 (貝瀬副会長)

第1回からご意見をいただいた内容が反映され、本日、とてもよい共生ビジョンとしてまとまった。委員の皆さま、ご協力いただきありがとうございました。次回の共生ビジョン懇談会は、来年10月ということで連携事業の効果検証がメインになる。その際は、また活発なご意見をいただきたい。

これにて第3回魚沼地域定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了する。ありがとうございました。

(午後3時20分閉会)